



地元の魅力満載「サマーフェスタ」開催

8月3日、北本駅東口の中山道と東中央通りを会場に、「サマーフェスタ」が5年ぶりに開催されました。ダンスや流し踊り、よさこいなどの各種パフォーマンスや、市内・県内ご当地グルメ等の販売、映画上映、キャンドル点灯が行われ、多くの人でにぎわいました。



青パトで防犯のまちづくり

8月7日、市役所第4庁舎北側駐車場で青パト(青色回転灯装備車両)による防犯パトロール出発式を行いました。今回増車(27台)したことで青パトは30台となり、式典の後、県内最多となる青パト車両がパトカー、白バイの先導の下、パトロールへ出発しました。



「0歳児おむつ無料化」で子育てを応援

7月30日、市役所市民課ロビーにおいて、0歳児おむつ無料化事業記念イベントが行われました。当日は約50組の親子が参加し、市長から直接おむつを受け取りました。8月19日現在の取扱店は4店で、順次増えていく見込みです。



北本高校生が高崎線開業130周年イベントに参加

7月28日、北本高校の生徒18人が、上尾駅自由通路で開催された「私たちが考えた駅そば・うどんメニューコンテスト」に参加しました。夏にぴったりのイタリアン風味に仕上げた「北本トマトクリームそば」で、来場者に「トマトといえば北本」をアピールしました。

市長のほつと・とーく
きたもと市民会議

ツイッター、フェイスブック、ラインなどのソーシャルメディアの発達により、情報を受け取るだけでなく発信し、幅広く意見交換できる機会が広がってきました。選挙でもインターネットの使用が解禁され、新たな一歩を踏み出しました。数年前には想像もできなかった技術によって情報交換が容易になり、不確実な情報や流言飛語による被害、プライバシーの保護など克服すべき課題はありますが、これらはきつと社会をより良い方向に導いてくれることでしょう。

北本市では、新たな試みとして、「きたもと市民会議」を昨年より開始しました。

市の取組みについての提案を募集し、無作為に抽出された市民による会議やウェブで、その必要性を議論していただきます。昨年度最も多くの支持を得た「防犯カメラ設置事業は今年度事業化、9月下旬ごろ北本駅前設置する予定です。また、今年度は既存事業の縮小や廃止も対象とします。

145年前、五箇条の御誓文に示された、新しい国づくりを目指す明治政府の基本方針の第一は、「広く会議を興し、万機公論に決すべし」でした。明治時代と同様に先行きが不透明な中、さまざまな困難を乗り越えていくためには、幅広い市民の知恵と力が必要です。

今年度の「きたもと市民会議」は9月から11月の3か月間開催し、市のホームページから参加できます。ぜひご協力をお願いします。



北本市長 石津 賢治